

道しるべ

第1号

令和3年4月29日発行
進路指導部

校長 高橋 譲

例年になく早く開花した桜に見守られ、この春、ゆり支援学校高等部を巣立った21名（本校19名、分教室2名）は、それぞれの進路先で、新たな一歩を踏み出していることと思います。しかし、踏み出してはみたものの、新しい環境に慣れず、戸惑っている様子もうかがえます。私たちでも、異動で勤務先が変わるだけで戸惑うことがあるのですから、「生徒」から「社会人」へという大きな変化で、彼らが戸惑わないわけがありません。そのため
の練習として、現場実習なども重ねてきましたし、職業の学習もしてきましたが、いざ本番に一人で向かうのは大変なことだと思います。そこを乗り越えて、さらに先へ進んでほしいものです。



厚生労働省の調査では、一般に就労している人のうち中学校卒で6割、高等学校卒で4割、大学卒で3割の人が、新卒採用後3年以内に離職しているという結果が報告されています。離職の理由には、様々あるとは思いますが、内閣府の調査によれば、「1位：仕事が自分に合わなかったため、2位：人間関係がよくなかったため、3位：労働時間、休日、休暇の条件がよくなかったため」となっています。「学校から社会・職業への移行」を円滑に行うことは、どの学校においても課題となっています。

本校では今年度、「特別支援学校就労・職場定着促進事業」に取り組みます。これは障害のある子どもたちの就労先を拡大するというよりも、就労してからの職場定着に力点をおいた事業です。また、就労してからの支援ではなく、就労前、つまり、在学中に「社会・職業に円滑に移行できる力」を身につけることにポイントがあります。そのために、小中高一貫して子どもたちを支援できる特別支援学校の特徴を活かし、出口に近い高等部だけではなく、中学部段階から長期にわたって支援することで着実に力をつけていく取り組みを進めていきます。また、本事業を活用した中学部での取り組みの充実を、小学部からのキャリア教育につなげていきたいと考えています。

進路の手引きについて

本校では、入学時に進路の手引きを配付しております。
面談時の進路相談で使用しますので、面談時にはぜひ御持参ください。
進路の手引きには、各種サービスや施設の情報を載せてあります。新しい情報については、進路だより「道しるべ」でお知らせしていきますので、疑問に思ったことや質問等は、学級担任や進路指導部にお問い合わせください。



令和2年度卒業生の進路状況



福祉サービス利用

〔就労継続支援B型〕	
株式会社ハイタッチ	2名
株式会社鳥海フォス	1名
ほっこり苺の里	1名
コロニー	2名 (入所支援含む1名)
Lead本荘	1名
〔生活介護〕	
さん・とらっぷ	1名
水林新生園	1名
逢い	1名
〔地域活動支援センター事業〕	
根分け会	1名
〔その他〕	
在宅	1名



一般就労

〔小売業〕	
惣菜部門・商品補充 (パート雇用)	1名
加工食品売り場スタッフ (パート雇用)	1名
農産部門 (パート雇用)	1名
ガソリン販売員 (契約社員)	1名
〔サービス業〕	
自動車整備員 (契約社員)	1名
〔製造業〕	
清掃・運搬スタッフ (嘱託)	1名
清掃員 (臨時職員)	1名



※令和3年3月31日現在

がんばれ卒業生！！

JA秋田しんせいサービス 由利自動車センター

由利自動車センター（一般就労）で、4月2日から勤務しています。所長さん始め、従業員の方々は「良寛さんが来ることを心待ちにしていた」とのことです。

在学時の実習でも明るくはきはきとした話し方で周囲の従業員さんとコミュニケーションをとり、意欲的に仕事をする姿を評価していただけていました。就労に向けては、自動車免許を取得しています。在校生のみなさんも、学校生活の1日、1時間、1分、1秒を大事にし、進路実現に向けてがんばってほしいと思います。



齊藤良寛さん

良寛君に質問

Q：就労するために大切なことは何ですか？

A：自分が長く続けられる仕事かどうか、よく考えることです。

Q：長く続けるために必要なことは何だと思いますか？

A：仕事を楽しむことと周りの人と話（相談）をすることです。

Q：後輩に何かアドバイスするとしたら？

A：頑張りすぎないことです。無理して頑張っても長く続きません。頑張れることから少しずつやれるといいと思います。